



# 身近な植物を調べてみよう

## 1 在来種？外来種？

市街地でも多少の土があるところなら、様々な植物が生きています。身近な植物が在来種か外来種か調べてみましょう。  
たとえば写真の植物はどちらでしょうか？  
またその周辺に日本固有の植物は生息しているのでしょうか？



タンポポ



シロツメクサ

## 2 野菜の花をみたことはありますか？

花が咲いてから食べる野菜、花が咲く前に食べる野菜。  
どんな花を咲かせるか見てみませんか？  
下の写真は、ある愛知の伝統野菜の花です。  
どんな野菜かわかりますか？



ヒント：根元に面影が



ヒント：花は白いが身は赤い



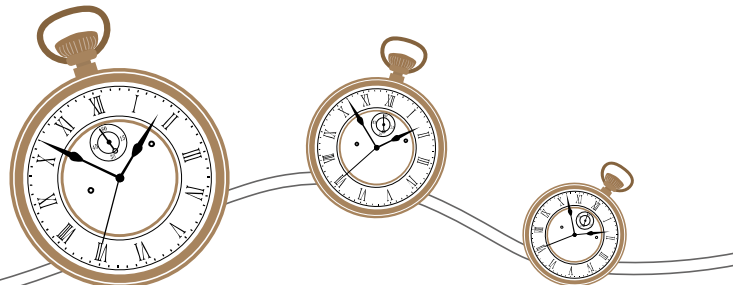
ヒント：お正月に食べる野菜





# タイムスリップ

今住んでいるところに昔は何があったか知っていますか？  
 山だった？川があった？  
 たとえば100年前、そこには人が住んでいたのでしょうか？  
 そこではどんなくらしが営まれていたのでしょうか。  
 タイムスリップした気分で100年前の様子と今の様子を  
 比べてみましょう。



## 今住んでいるところについて

< 町名 >

< 地域の特徴は？ >

< どんな人たちが  
 どんな風にくらしていますか？ >

## その昔を調べる

< 町名 >

< 地域の特徴は？ >

< そこはどんなところだったのでしょうか？  
 人はくらしていましたか？ >



なぜ変わっていったのか(または変わっていないのか)仮説を立ててみましょう。

# 「じぶんセンサー」の スイッチオン

関連するSDGs



なごやの環境の状況は、河川や海の多くの地点で毎月水質調査が、大気の様子は市内19か所の観測局で24時間の連続測定が行われています。

そのほか、騒音や地盤沈下などの状況が観測され、環境情報として蓄積されています。

私たち「人間」の持つ五感は、場合によって測定機器を上回る能力を発揮します。

五感をフル稼働して身の回りの環境を感じてみましょう。

また、測定機器の数値と比較し、自分なりの「じぶんセンサー」をつくってみましょう。



## 通勤・通学途中で眺める「川」の様子がいつもと違う。

- 水の色が違う、においがする、水量が多い
- 下流から上流に流れている

川の水はどこから流れてくるのか。

雨が降っていないのになぜ濁っているのか。

においのものはなんだろうか。

自分は川の水を汚していないか。

市内の水質常時監視結果や水循環について調べてみよう。

⇒関連ページ 第3章2節, 5節

## 朝、快晴で目覚めたが、なんだか空がどんよりしており様子がいつもと違う。

- いつもははっきり見えるテレビ塔や伊吹山がかすんでいる
- 天気の良いのに目がチカチカする

晴れなのに遠くがかすんでいるのはなぜか。

目がチカチカする原因は何か。

体への影響はないのだろうか。

市内の大気汚染常時監視結果や汚染物質について調べてみよう。

⇒関連ページ 第3章1節, 4節

## 普段は気にかけてきたことのない足元の土地。豪雨の際の浸水や土壌の汚染が心配。

- 土地の成り立ちは？
- 何に使われてきたのか
- 安全性はどうか

なごやの地形の成り立ち、都市の移り変わりから、自分の住む土地のルーツを調べてみよう。

また、地盤の安全性や土壌汚染の状況などの環境情報についても調べてみよう。

⇒関連ページ 第3章1節, 2節, 6節

## 聞きなれない大音量の音や気分が悪くなるにおいがする。

- 悪臭が酷い
- 騒音や振動が気になる
- 目に見えない化学物質の影響はあるのか

音やにおいは「うるさい・くさい」「心地良い」と感じ方は人それぞれ。

化学物質については統計データをもとに、科学的に心配の度合いを調べてみよう。

⇒関連ページ 第2章7節, 第3章7節

じぶんセンサーを作ったら、1年をとおして身の回りの環境に気を配ってみよう。

1日の時間変化や季節による違いなど、気づかなかった環境変化を

より感じられるようになります。